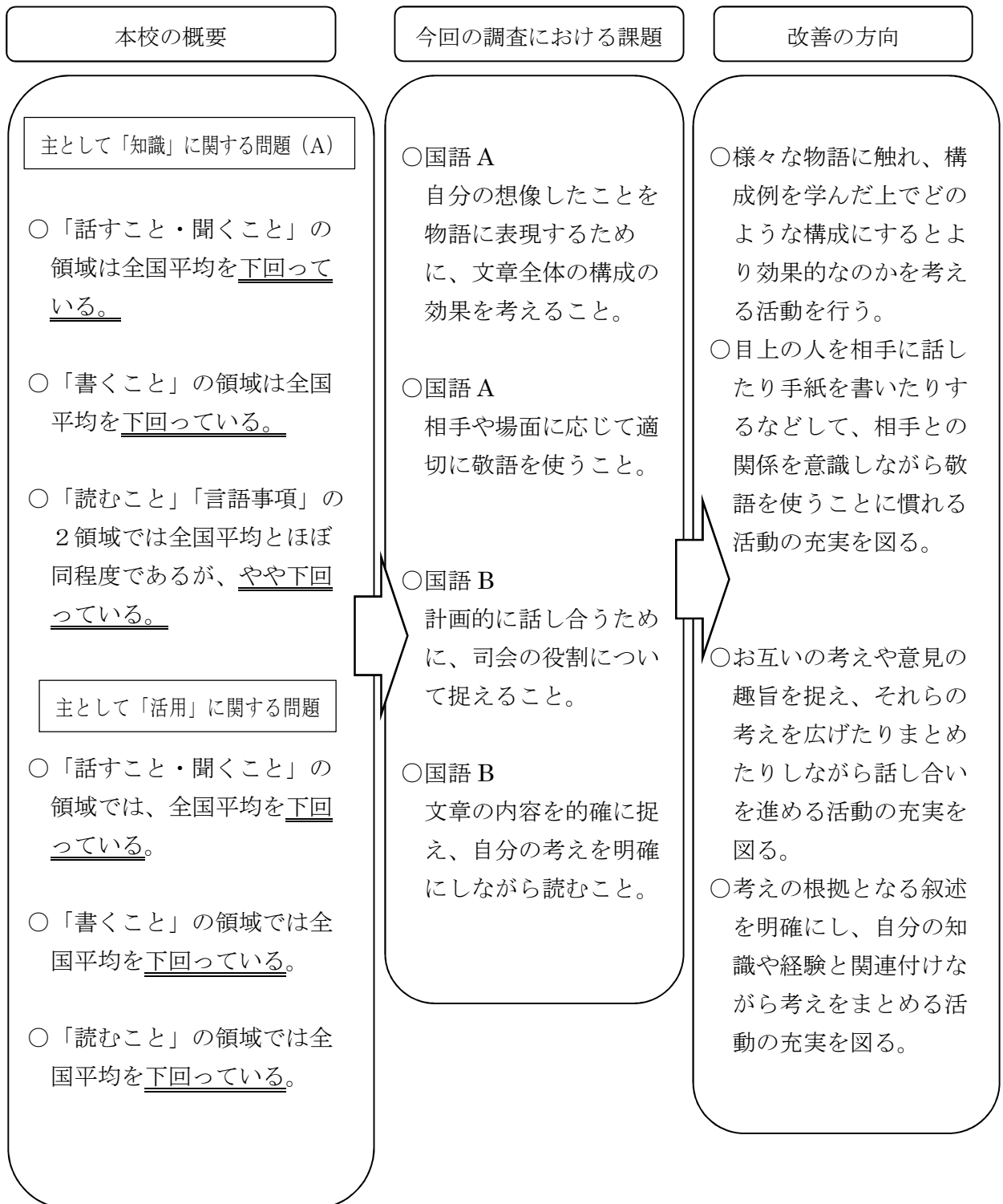


平成30年度 全国学力・学習状況調査結果より【国語】



「言語事項」 → 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果より【算数】

本校の概要

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」領域は全国平均を下回っている。
- 「量と測定」領域は全国平均を下回っている。
- 「図形」領域は全国平均を下回っている。
- 「数量関係」領域は、全国平均とほぼ同程度である。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」領域は全国平均を下回っている。
- 「量と測定」領域は全国平均を下回っている。
- 「図形」領域は全国平均を下回っている。
- 「数量関係」領域は、全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

<算数 A>

- 小数の除法の意味についての理解。
例 $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ
- 分度器を正しく使い、 180° を超える角度を求めること。
- 縦・横・高さを用いて空間にあるものの位置を正しく表現すること。

<算数 B>

- 時間内に収まるように玉入れゲームの計画を立てる想定。
 - ・示された情報を解釈し数理的に処理すること。
 - ・複数の考えから、条件に合う事柄について適切に判断すること。
- 九九の表を見て考える設問
 - ・示された数字の並びを論理的に考察し、式で表すこと
 - ・～ならば～なるはず、と発展していく数量関係を数学的に言葉や式で表現すること。

改善の方向

- 小数の乗法除法の学習場面で、数直線に□や基準の「1」などを適切に表現して考える授業のさらなる充実。
- 見当を付けてから測る、測定結果を確かめるなどの活動の充実。
- 平面と同じく、空間でもある点を基準として横1つ目、縦2つ目、高さ3つ目など、位置を数で表す活動の充実。
- 図や表や文章で順を追って説明されている状況を、一つ一つ確かめながら把握し、数理的に処理していく活動の充実。
- 問題場面の数量関係を論理的に考察し、そこから見いだした数量関係を言葉や式で表現する活動の充実。

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果より【理科】

本校の概要

<領域>

「物質（粒子）」

- 全国平均を下回っている。

「エネルギー」

- 全国平均を下回っている。

「生命」

- 全国平均を下回っている。

「地球」

- 全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 濾過の適切な操作方法を身に付けること。
- 海水と水道水を区別するための、2つの異なる実験結果を分析して考察すること。
- 実験結果を踏まえ、予想や類推を含めずに、明らかになったことだけを結論付けること。

- 実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善すること。

- 堆積作用について、科学的な言葉を理解しているか。
- 土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること。

改善の方向

- 観察・実験から得られた結果を基に「事実」と「解釈」を示しながら、自然の事物・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実。

- 予想したことを話し合う場面を取り入れ、自分と異なる予想をした他者の予想が確かめられた場合に得られる結果の見通しを共有する活動の充実。

- 自らの予想や仮説を基に実験計画を立て、実験を行う前に、予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すなどの指導の工夫を行う。